



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 藤澤秀敬 幹事 平澤泰斗 会報委員長 唐木 章 第2758回例会 2016.10.27 No.1421



Rotary Serving Humanity

人類に奉仕するロータリー

2016-17年度 RI 会長テーマ

ソング 我らの生業**ゲスト紹介** 2016-2017 年度 上伊那グループガバナー補佐 垣内章雄様**会長談話**

本日は、垣内ガバナー補佐にお越しいただいての例会であります。

再来週 11月10日の原ガバナーの公式訪問例会の事前訪問ということで来ていただきました。ありがとうございます。

さて、10月16日軽井沢での地区大会お疲れ様でした。多くの皆さんにご参加いただき盛大に開催され、プリンスホテルの素晴らしい環境の中、好天にも恵まれました。森永さんの漫談のような経済講話はさておきまして、我々一昨年運営いたしました駒ヶ根での地区大会を思い出しながら、また当時大変お世話になったガバナー補佐の皆さんや地区役員、委員会の皆さんとの再会を楽しみました。今回大会実行委員長を務められた軽井沢 RC の長岡さんは、当時の東信第1グループのガバナー補佐でした。大活躍されている様子を見て自分のことのようにうれしくまた、ハラハラしてしまいました。

プリンスホテルでの昼食はカレーライスで美味しくいただきましたが、手前味噌ですが、駒ヶ根の地区大会のソースかつ丼のスペシャルパックはかなり高得点だったと改めて思いました。皆様はいかがだったでしょうか？

また会報をしっかりとまとめていただきありがとうございました。

また本日、幹事報告で新会員候補者の発表がありますが、7月以降6人目の入会となりそうです。神山増強委員長待望の女性会員です。11月10日の原ガバナー公式訪問例会当日の入会となればいいなあ、と思っています。よろしくお願いいたします。

新会員獲得が多いように見えますが、前期末までで退会された方も多かったので、現在、実質2名の増加に留まっています。今年度の会員増強目標は4名であります。今後退会者もありますのでもうひと頑張りと思います。よろしくお願いいたします。

**幹事報告** 別紙をご覧ください。**出席報告** 会員数56名 内出席免除18名 長欠1名 出席者30名 事前メーキャップ10名 出席率85.11% 前々回100%変更なし。**ニコニコボックス**

藤澤秀敬・平澤泰斗 垣内ガバナー補佐の訪問を歓迎致します。

藤澤秀敬・平澤泰斗 10/16 軽井沢での地区大会への参加お疲れ様でした。



在籍祝 中川博司

10月ゴルフコンペ入賞 唐木 章、宮下光一

ガバナー補佐ご挨拶 垣内章雄ガバナー補佐

本年度のRI 会長ジョン・F・ジャーム氏は本年度のテーマを「人類に奉仕するロータリー」と発表しました。

原拓男ガバナーはRI テーマを実践するための2600地区の標語を「Basic and New」ー原点に返り新たな改革を!!ーといたしました。

現在の社会は日々様々な変化発展をしていますので、ロータリーにおいてもこの変化を無視する訳にはいき

ません。そこでこのテーマと致しました。そして原拓男ガバナーは、私たちがロータリーを通じて学んだ多くの事の中で最も大切ながら最もシンプルな事、それはロータリー全体の発展を望むなら全員が同じ方向に進まなければならないという事です。全員が同じ方向に進み「We Serve」つまり「我々は奉仕する」。すなわちクラブ全体でまとまって一つの事業に基金を拠出する。そうすれば次は「I Serve」つまり「私は奉仕する」。すなわち会員一人一人が自己の責任と判断において、自分の職業を通じて、社会に世界に奉仕することによって発展して行く事でしょう。

また「四つのテスト」の中で原ガバナーはそれぞれ重要な事ですが、三番目の「好意と友情を深めるか」を一番大切にしているそうです。友情を深めクラブ内に融和が無ければ同じ方向に進む事は出来ません。その意味で地区行動指針を「長所を認め合い絆を深めよう」といたしました。第2600地区2,000名のロータリアンが絆を深め進む時のパワーは正に「人類に奉仕するロータリー」となるでしょう。

2016-2017年度ロータリー目標優先項目

○会員増強について

- ・上伊那グループとして、純増10名以上の達成5クラブで割れば1クラブ2名という事になります。

○ロータリー財団100周年事業における寄付目標

- ・年間一人平均150ドル
- ・ポリオ撲滅に一人40ドル
- ・平和フェローに一人10ドル

合計一人平均200ドル

○地区補助金申請について

- ・2016-2017年度事業申請は上伊那グループ全体として小林孝行ガバナー補佐の御指導のもと駒ヶ根ロータリークラブ様より申請がありました。ネパールトカルパ村周辺地域において、震災後の自立活動を支援する事業に150万円を掛け、地区補助金100万円、クラブ負担金50万円で協力しました。
- ・2017-2018年度事業申請につきましては各クラブの意向に沿うこととしました。今から取り組まれ年末には内容を決定し、申請の準備に入ってください。1クラブ20万円～30万円

○ロータリーの認知度の向上について

- ・ロータリーに対する人々の認識を高める
- ・ロータリーの功績と「世界でよいことを」してきた財団100年の歴史について広報する

規定審議会での変更事項に対する2600地区の対応について

本年4月シカゴで開催されました「規定審議会」で大幅な改正が決定されました。

望月パストガバナーは5月14日臨時諮問委員会を招集開催し、この度の改正に2600地区としてどのように対応するか諮問委員に協議いただき3点に整理し報告いただきました。

1. 決定事項を肯定的に捉え、地区内クラブの活性化に活かす。
2. 2600地区は、各クラブや他地区の情報収集に努め、7月からの原ガバナー年度に時間をかけて議論を深め、来年4月の地区協議会を目途に2600地区の対応を決める。
3. 2016-2017年度は各クラブとも既にクラブ計画書が作成されており、従前の運営を継承しながら、クラブ内の論議を深める事を要請する。

規定審議会の一部内容について

- ・会員身分がシンプルに
善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、職業上、あるいは地域社会で良い評判を受けている人。
- ・例会の開催に柔軟性が
クラブ細則で決める事が前提である。基本は毎週であるが、修正案が出され、少なくとも月2回という文言が追加された。
- ・クラブ会員の入会金に関する部分を削除する
クラブ細則でその方法について決める事は自由である。



例会後、垣内ガバナー補佐が出席されクラブ協議会が開催されました。